

JASEB(ジャセブ)を御存知ですか？

日本視覚障害理科教育研究会事務局(筑波大学附属視覚特別支援学校)

柴田 直人

JASEB(ジャセブ)は、日本視覚障害理科教育研究会の英語名称の略称です。本会は、「視覚に障害のある児童生徒の理科教育の理論と実践について研究し、我が国の視覚障害理科教育の向上をはかる」ことを目的とした研究会です。

昨年度の普通教育連絡協議会(普連協)総会や、ここ数年のいくつかの研究会の場において、視覚障害教科教育の全国的な研究会の有無についての質問があり、これまで以上に積極的に本会の存在について全国の先生方へ発信しなければならないと感じましたので、ここで本会の歴史について簡単に御紹介したいと思います。

(なお、全国的な視覚障害教科教育の研究会としては、本会の他に、「日本視覚障害社会科教育研究会」と「視覚障害算数・数学教育研究会」があります。)

本会の設立に携わり、現在も科学ヘジャンプ事業などで視覚障害理科教育の継承・発展に御活躍中の本会会長 鳥山 由子 先生に会の発足についてお聞きしました。

お話によると、研究会設立の発議は1980年8月の全日盲研理科部会でした。当時は理科の実験が十分に行われていない盲学校も多く、全日盲研理科部会だけでは実践の共有が困難であり、情報交換と実践・研究の継続のため、研究会の必要性が痛感されていたためです。この発議を受けて同年11月21日に有志による会を開き、本会の目的、名称、役員を決め、この日を研究会発足の日として全国への呼びかけを行いました。翌1981年第1回研究大会が開催され、規約が成文化されました。

発足以来、38年が経過し、この夏には、第39回研究大会が筑波大学附属視覚特別支援学校で2日間の日程で開催されます。例年、全国の先生方からたくさんの実践報告の発表があります。本会では、研究大会に合わせて毎年、全国の盲学校の先生方の授業実践報告等を中心とした、視覚障害理科教育の研究論文を掲載した会報『JASEB NEWS LETTER』を発行しています。

研究大会については、例年、第1学期中に第1報、第2報を発行し、全国の盲学校宛に御案内差し上げています。(宛先は各盲学校長宛です。)また、会報『JASEB NEWS LETTER』は、第2報とともに、同じく全国の盲学校宛に送付しています。

第1報、第2報が届きましたら、校内で理科担当教員や管理職止まりにせず、是非、校内の多くの先生方に回覧して下さいますようお願いいたします。特に、異動により思いがけず視覚障害理科教育に携わることになり、授業の進め方などで困っていらっしゃる先生方の助けになれば幸いに思います。理科担当教員だけでなく、幼稚部から専攻科まで、教科・領域・学部に関わらず、御興味のある先生方は、是非、研究大会にお気軽に足をお運びいただければと思います。(盲学校から他校種へ異動された先生方の中には、引き続き会員として登録されている方が大勢いらっしゃいます！ 研究大会には、理療科の先生方も参加して下さったこともありました！) 本会には、web ページ(<http://www.jaseb.net/>)もありますので、是非一度、御覧ください。

